

ユニットケアの 「実践発表」大募集！！

第7回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナーin 神戸

発表者募集要綱

今回の募集は、10テーマ！

第1部門	私たちがはじめたユニットケア・グループケア（初級編）
第2部門	3大介護からユニットケア（個別ケア）を考える
第3部門	その人らしい暮らしと“食”を考える
第4部門	一人ひとりの暮らし方から考える住環境づくり
第5部門	ユニットケアにおけるケアプラン・ケア記録
第6部門	ユニットケアでの終末期ケア（ターミナルケア）と医療機関との連携
第7部門	地域に出る・地域で暮らすユニットケア（逆デイサービス・地域サテライトケア）
第8部門	専門性をこう活かす！
第9部門	ユニットケアの基盤！職員育成と組織づくり
第10部門	ケアの質を高めるための連携と協働

【開催期日／会場】

2008年3月15日（土）～16日（日）／神戸学院大学・有瀬キャンパス

【定員】

800人

【参加費】

13,000円（1発表お二人まで適用）

（※一般参加：15,000円）

【主催】

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

1. 趣 旨

「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」は、2002年に岡山県笠岡市で開催されたのを皮切りに、これまで全国6か所で実施され、数多くの実践現場から、日々の取り組みが報告されてきました。ひとくちにユニットケアと言っても、その取り組みの内容は施設によって実に様々です。既存施設を活用しながら、試行錯誤を重ねてようやくユニットケアに至った取り組みがあります。一方で、真新しいユニット型のハードが整っていながら、ケアの質が追いつかず、職員もお年寄りも疲れてしまった例もあります。

標記実践者セミナーは、「ユニットケアの基本は現場の実践にある」との考えから、現場のスタッフがケアのあり方やスタッフの育成、経営の方向などの実践をまとめ、伝え合い・交わり合い、より良いものにしていく場として開催しています。このセミナーでの発表を機に、お年寄りの表情が変わった、職員が変わった、ケアが変わったなど、数多くの報告が寄せられています。

兵庫県での開催にあたりましても、全国から数多くの実践報告が寄せられることを、心よりお待ちしております。

【過去6回のセミナーの概要】

	日 時	開 催 地	報告数	参加人数
第1回	2001年12月1日～2日	岡山県笠岡市	34報告	1,000人
第2回	2003年3月22日～23日	山口県山口市	70報告	1,200人
第3回	2004年1月17日～18日	沖縄県宜野湾市	114報告	1,000人
第4回	2004年7月26日～27日	北海道札幌市	132報告	1,400人
第5回	2005年12月4日～5日	京都府京都市	185報告	1,500人
第6回	2007年2月10日～11日	高知県高知市	118報告	900人

<第7回大会>

【開催期日】 2008年3月15日(土)～16日(日)

【会 場】 神戸学院大学 有瀬キャンパス

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518

TEL:078-974-1551 URL <http://www.kobegakuin.ac.jp>

2. 募集内容

本実践者セミナーでは、現場実践者が、これまでの取り組みを「発表」することにより、自分たちの実践を整理し、新たな気づきを生むものとして捉えています。上手な発表というよりもむしろ、発表を通して全国の仲間と語り合うことにより、ユニットケアの良さや利用者に関わることの大切さなど、実践者同士が交流することを目的としています。

発表して「気づき合い」、仲間と交流して「築き合う」発表を全国から大募集します。

第1部門	私たちがはじめたユニットケア・グループケア（初級編）
	ユニットケアやグループケアに取り組むことになったきっかけや、取り組みのなかで悩んだこと、上手いかなかった体験など、ユニットケア導入時の苦労や展開方法などについての実践報告です。 既存施設も、新型施設も、ともに自分たちの出発点を報告してみませんか？ 特に、既存施設でユニットケアに取り組んでいる実践報告大歓迎！
第2部門	3大介護からユニットケア（個別ケア）を考える
	ユニットケアに取り組むことで、より一人ひとりを重視したケア、すなわち個別ケアが求められるようになります。「ユニットケアを2年、3年と続けていくなかで、利用者の暮らしはどう変わったのか？」「個別的な関わりが増えていくなかで、3大介護と呼ばれる食事、排泄、入浴のあり方はどのように変わったのか？」など、ユニットケアに取り組むなかで変化した、個別ケアに関する実践報告を募集します。
第3部門	その人らしい暮らしと“食”を考える
	ユニットケアでは、その人らしい暮らしに合わせた「食事」のあり方も重要となります。 この部門では、ユニットケアの実践から見てきた、その人らしい暮らしを支える食のあり方（場づくり、食事づくり、買い物、栄養マネジメント など）についての実践報告を募集します。
第4部門	一人ひとりの暮らし方から考える住環境づくり
	ユニットケアでは、利用者一人ひとりの暮らしに合わせたケアはもちろんのこと、その暮らし場としての住環境・しつらえのあり方も重要となります。 この部門では、ユニットケアの実践から生まれた、既存施設の改修や改築の工夫、新型施設の設計などの状況についての実践報告を募集します。
第5部門	ユニットケアにおけるケアプラン・ケア記録
	ユニットケアの理念を具体的に進めていくための方法のひとつとして、ケアプランやケアの記録もとても重要となります。 この部門では、ユニットケアで求められる「その人らしさを大切にしたいケアプラン」の立て方や実践にいきる介護記録の取り方など、具体的な実践事例を募集します
第6部門	ユニットケアでの終末期ケア（ターミナルケア）と医療機関との連携
	ユニットケアでは、日々の暮らしだけでなく、人生の最期を病院ではなく生活の場（施設）で支えることもあります。 「施設での看取り方」「個別ケアを進めるなかから見てきた医療との連携、そして看取りのあり方とは？」「老いを支えた家族のために、お年寄りが最期を迎えるその前後に、施設は家族や介護者に対して何ができるのか？」など、最期の支え方・そのための日々の医療機関との関係性についての実践報告を募集します。
第7部門	地域に出かける・地域で暮らすユニットケア（逆デイサービス・地域サテライトケア）
	逆デイサービスや地域サテライトケアはユニットケアの導入のためにも、地域での暮らしを知るきっかけとしても、非常に意義のある取り組みです。この部門では、ユニットケアから一歩地域に踏み出した取り組みについて、実践報告を募集します。 また、逆デイサービスや地域サテライトケアを受け入れる地域の側からの報告もお待ちしています。
第8部門	専門性をこう活かす！
	看護師や理学療法士、作業療法士、栄養士、調理師、その他多くの専門職と呼ばれるスタッフが、施設にはいます。利用者（お年寄り）の暮らしをより豊かにするために、こうした職員の専門性をどう活かすことができるのか、また、ユニットケアを実践するなかで、専門職のスタッフの役割がどう変化したのか、実践事例を募集します。
第9部門	ユニットケアの基盤！職員育成と組織づくり
	ユニットケアでは組織のあり方も大きく変わります。当然、職員の力量が求められ、一人ひとりの役割も大きく変わってきます。 「ユニットケアに求められる職員像とその育成方法や新人教育の取り組み」、「日々のスーパーバイズの実践」、「ユニットケアのための組織づくり」、「現場の声を上手に活かす組織のあり方」など、職員の気づきを大切にする教育や研修、また組織のあり方についての実践報告を募集します。
第10部門	ケアの質を高めるための連携と協働
	職員一人ひとりが気づきを得ても、それが他の職員と共有されなければユニット全体、施設全体を変える力にはなりません。また、ときには施設を越えた連携と協力が、現場の試行錯誤の実践を支え、ユニットケアを発展させる力へとつながっています。 いくつかの施設がともに研修を行ったり、ユニットの職員同士で悩みや課題を考え合うなど、小規模ケアにおける支え合いと競い合いに関する実践報告を募集します。

3. 応募の手順

- ① 実践報告の発表希望者・施設は、同封の「実践報告発表申込用紙」により、**2007年10月31日(水)必着**にて、「実行委員会事務局」にお申し込みください。
- ② 発表の申込者・施設が多数で、発表時間並びに会場の関係でお断りをする場合は、先着順で決定させていただきます。11月15日(木)までに決定通知を発送いたします。
- ③ 発表決定者・施設は、当日資料にレジュメを掲載いたしますので、決定通知に同封の様式にしたがって、**2008年1月15日(火)必着**にて、ご提出してください。
- ④ 「**ステージ報告者**」並びに「**ポスター展示・説明者**」は、**セミナーへの参加が必要になります。決定通知に同封する参加者募集要綱にて、セミナーのお申し込みを行ってください。**

4. 実践報告発表にあたっての留意事項

	実践報告	ポスター展示・説明
①申し込み	<p>1)発表形態を「ステージ報告」または「ポスター展示・説明」から選択し、ご希望の形態を申込用紙にご記入ください(両方の形態をお申し込みいただくこともできます)。</p> <p style="text-align: right;"><申込期限:2007年10月31日(水)></p> <p>2)申込用紙は1報告につき1枚ご記入ください。「ステージ報告」「ポスター展示・説明」の両方にお申し込みの場合は、各報告につき1枚ずつご記入ください。</p> <p>3)報告のテーマ、内容を検討のうえ、事務局においてご希望の部門を変更させていただく場合もありますので、ご承知おきください。</p>	
②発表準備	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指定用紙への記入、図面及び勤務表の提出 <提出期限:2008年1月15日(火)> ➢ 報告時にパワーポイントを使用する場合のデータの提出(使用する場合のみ)。 <提出期限:2008年2月15日(金)> 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 指定の大きさ(縦180cm×横90cm)のポスターを作成。当日持参し、事務局指定のパネルに貼付。
③発表時間	<p>3月15日(土)午後のうち、後日指定する25分間(質疑応答時間5分を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 発表テーマは前頁に掲載しております10部門となります。1テーマを選択し、実践報告発表申込用紙へ必要事項をご記入・ご返送ください。 ➢ パワーポイントを使用される場合は、申込用紙に必要事項を記入してください。報告申込時に希望した機材以外の変更はできかねますので、あらかじめご了承ください。 ➢ <u>当日資料用のレジュメを期日までに提出されなかった場合は、発表の意思のないものとして準備を進めますので、ご注意ください。</u> ➢ 1発表20分以内とし、最低5分以上の質疑の時間を確保してください。(合計25分間) 	<p>展示期間:3月15日(土)</p> <p>(15日の質疑応答の時間には、ポスターの傍にお立ちください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 発表テーマは自由に設定ください。 ➢ ポスター展示・説明は、会場備え付けのパネル1枚(縦180cm×横90cm)に実践事例などを展示して、実践事例提供者と参加者が質疑応答などを行うものです。ポスター説明の時間帯は、ご自身のポスター付近にお立ちください。 ➢ ポスター前に長机を1本用意いたします。パンフレット、物品等を置くことができます。 ➢ パソコンやビデオ等でプレゼンテーションをされる場合は電源を用意いたしますので、申込用紙にその旨をご記入ください。<u>発表申込時に希望されなかった場合は、その後に用意することはできませんので、あらかじめご了承ください。</u> ➢ ポスターは当日お持ちいただき、発表者ご自身で展示・撤収いただきます。

5. お問い合わせ・お申し込み

【報告のお申し込み先・セミナーに関するお問い合わせ先】

実践報告のお申し込みは、同封の申込書にて、下記あてにお願いいたします。なお、大会参加のお申し込みは、後日お送りいたします開催要綱をご覧のうえ、お申込ください。

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

【事務局】全国コミュニティライフサポートセンター（CLC 東日本）

担当：國分 基

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5-3-18-207

TEL: 022-719-9240 FAX: 022-719-9251

E-Mail: clc@clc-japan.com URL: <http://www.clc-japan.com>

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会とは・・・

宅老所など小規模ケアの実践を大規模施設の中に取り込み、大規模施設の中でできるだけ、地域の普通の暮らしを実現しようという思いから、「ユニットケア」が誕生しました。

「特養・老健・医療施設ユニットケア研究会」は、こうして取り組まれてきたユニットケアの実証的研究と普及推進を目指して、実践者と研究者の有志が99年春に組織したものです。これまで、ユニットケアの導入法やケアプランなどについて、実践者とともに研究を進めるとともに、「ユニットケア全国セミナー」などを通じて全国に様々な情報の発信を行っています。

交流会員募集中！！

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会では、ユニットケアに関するさまざまな情報交換を行う場として、交流会を設置しています。セミナー参加時の割引や最新情報の配信、代表の武田和典と会員との交流会など、会員ならではのサービスもあります。この機会にぜひ、交流会員になってみませんか。

ユニットケア研究会ホームページ

URL: http://www.clc-japan.com/unit_care/

「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナーin兵庫」 実践報告申込用紙

(1) 発表申込欄

①発表希望部門【希望する部門に○をつけてください】

部門	希望部門	発表形態	テーマ
第1部門		ステージ	私たちがはじめたユニットケア・グループケア(初級編)
第2部門		ステージ	3大介護からユニットケア(個別ケア)を考える
第3部門		ステージ	その人らしい暮らしと“食”を考える
第4部門		ステージ	一人ひとりの暮らし方から考える住環境づくり
第5部門		ステージ	ユニットケアにおけるケアプラン・ケア記録
第6部門		ステージ	ユニットケアでの終末期ケア(ターミナルケア)と医療機関との連携
第7部門		ステージ	地域に出る・地域で暮らすユニットケア(逆デイサービス・地域サテライトケア)
第8部門		ステージ	専門性をこう活かす!
第9部門		ステージ	ユニットケアの基盤! 職員育成と組織づくり
第10部門		ステージ	ケアの質を高めるための連携と協働
ポスター		ポスター	自由設定

②発表テーマ・概要(テーマは30字以内、概要は100字以内)

【テーマ】

--

【概要】

--

③施設名

施設種別	特養・老健・医療施設・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・その他()		
施設名		都道府県名	

(2) 使用希望視聴覚器材

①ステージ報告の方

パワーポイントの使用有無	有・無	パワーポイントバージョン	2000	2002	2003	2007
--------------	-----	--------------	------	------	------	------

※パワーポイントを使用される方は、パワーポイントのバージョンに○印をお書きください。

(3) 発表代表者連絡先

氏名		電話	()
		FAX	()
住所	〒		

	発表者氏名	所属(施設名)	職名
1	【発表代表者】		
2	【共同実践者】		